

# 嘉麻市地域公共交通に関する資料について

平成29年9月

嘉麻市 地域活性推進課

# 1. 地域公共交通に関する市民説明会広報嘉麻平成29年9月号抜粋



## 嘉麻市地域公共交通に関する 市民説明会を開催します。

本年7月に、まちづくり、観光振興等の地域戦略との一体性を確保し、公共交通網の再構築を推進するための基本計画である「嘉麻市地域公共交通網形成計画」を策定しました。

「嘉麻市地域公共交通網形成計画」は、地域公共交通の現状を踏まえながら、市民生活の支えとなる地域公共交通の確保・維持に向けた課題の解決に向けて、「一体性」、「安全性」、「利便性」、「持続性」という4つの基本的な方針や目標等を定めたもので、これらの内容について市民説明会を行います。



**説明内容** 嘉麻市地域公共交通網形成計画に関する概要について

開催日	時間	会場	説明者
平成29年9月17日(日)	10:00～	碓井住民センター	地域活性推進課 職員
平成29年9月20日(水)	15:00～	夢サイトかほ	
平成29年9月27日(水)	19:00～	稲築地区公民館	
平成29年9月29日(金)	10:00～	山田生涯学習館	

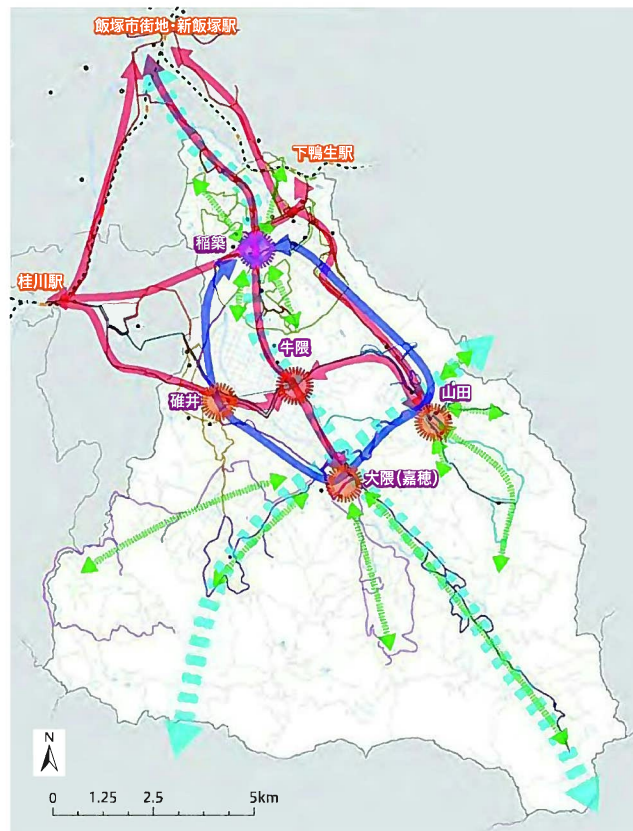
※この日程以外でもご要望に応じて公共交通に関する出前講座を実施しますので、お気軽にお問い合わせください。

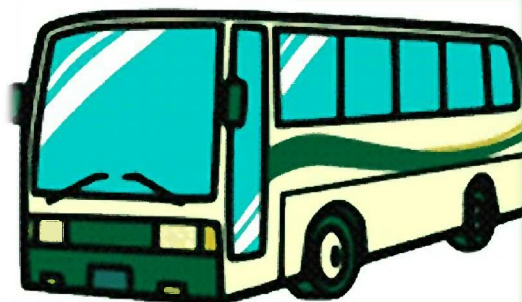
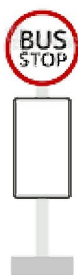
### 嘉麻市の 公共交通網の将来像

- 中核拠点  
(新庁舎周辺)
- 地域拠点  
(支所周辺)
- 交通拠点
- 広域交流軸
- 都市間連絡軸
- 市内循環軸
- 地域内交通軸

市民のみなさまのご参加を  
お待ちしております！

●問合せ先/  
嘉麻市役所 地域活性推進課  
☎62-5677





# 地域公共交通に関する 市民説明会（資料案）

1. 計画策定の背景と目的
2. 公共交通の現況
3. 嘉麻市の公共交通の問題点・課題
4. 嘉麻市の公共交通網の維持・形成に向けた基本的な方針、将来像
5. 計画目標および目標を達成するために実施する事業
6. アクションプラン
7. 計画の達成状況の評価



かましちゃん

平成29年9月

嘉麻市

（担当：地域活性推進課）

連絡先：62-5677

# 嘉麻市地域公共交通網形成計画(概要)

## 計画策定の背景と目的

嘉麻市内の公共交通としては、合併前の旧市町単位で運行していた運行形態を現在も踏襲しているため、公共交通のサービス水準が地区によって異なり、本市における公共交通体系は、市民にとって複雑なものであるとともに、不公平感が感じられるなど利便性の低い交通体系となっています。

嘉麻市において、将来のまちづくり政策等と連携した公共交通政策の実施によって、住民のニーズに即した、各交通機関との連携による、持続可能で利用しやすい安全な公共交通への再編が必要となっています。

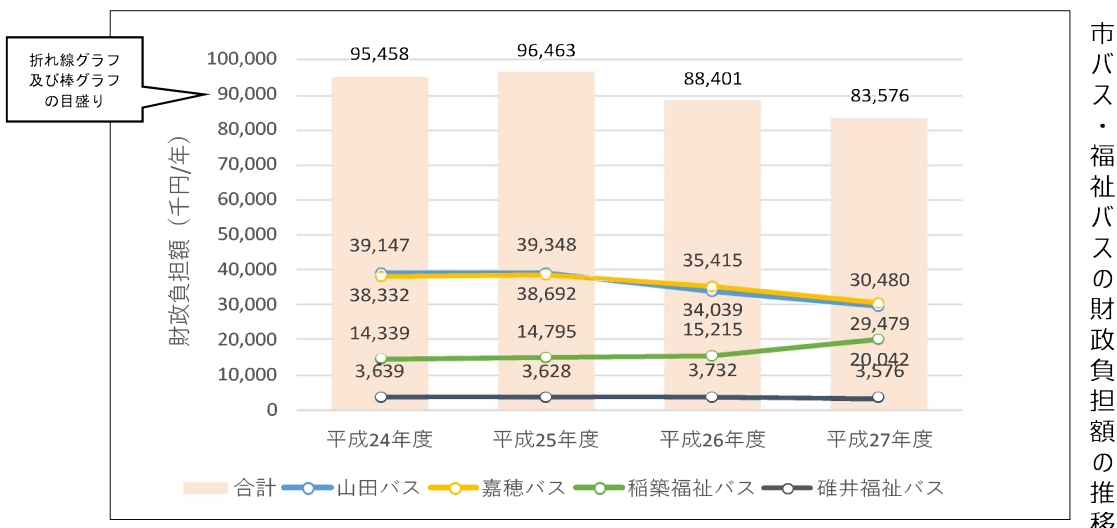
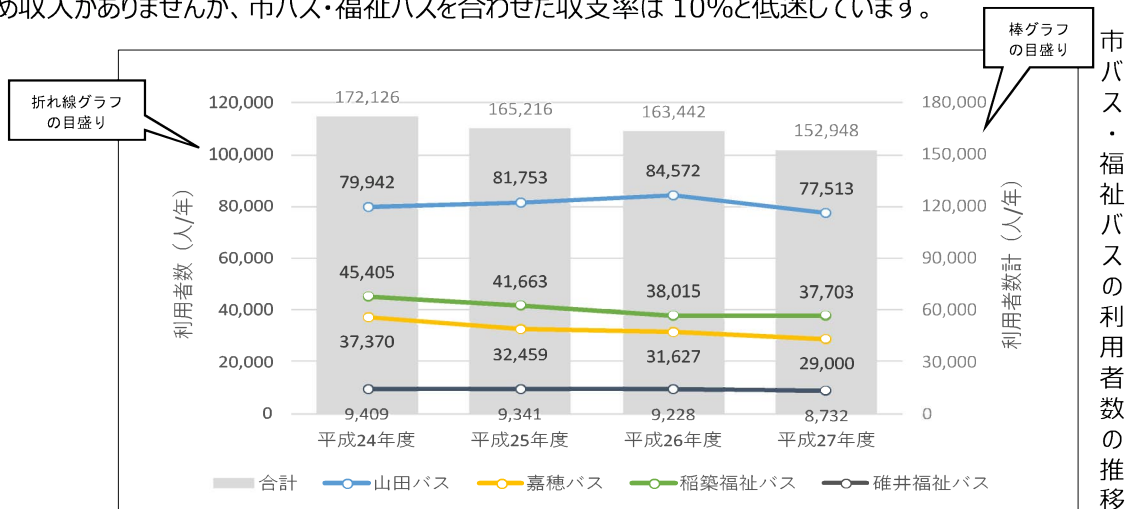
そのため、本計画では、地域公共交通の現状を踏まえながら、市民生活の支えとなる地域公共交通の確保・維持に向けた課題の解決に向け、「嘉麻市地域公共交通網形成計画」を策定し、持続可能で利用しやすく、安全性の高い総合的な公共交通網の構築を推進していきます。



## 公共交通の現況

### 市バス・福祉バスの利用状況及び財政負担状況

嘉麻市の運行する市バス・福祉バスの利用者数は年々減少しており、4年前と比較して約2万人利用者数が減少し、平成27年度の利用者は約15万3千人（1日平均約420人）となりました。路線別でも、山田バスが平成26年度にかけて増加傾向にありましたが、平成27年度は大きく減少しております。嘉穂バス、稲築福祉バス、碓井福祉バスは年々利用者数が減少してきており、どの路線も、運行路線や運行形態等に関して問題を抱えているものと考えられます。また、財政負担額については近年やや減少傾向にありますが、年間約1億円弱で推移しており、利用者数の減少に伴う収入の減少も影響し、平成27年度の財政負担額は約8,350万円となりました。福祉バスは無料運行のため収入がありませんが、市バス・福祉バスを合わせた収支率は10%と低迷しています。



## 嘉麻市の公共交通の問題点・課題

嘉麻市の地域公共交通の現況分析結果や嘉麻市の施策に照らし合わせ、嘉麻市の公共交通網を形成していくためには、以下のような主な問題点や課題があります。

- ・合併以前の市町単位の交通体系・複雑な事業体系
- ・有料の市バスや無料の福祉バスなど多様なサービスの存在によるサービス水準の格差
- ・市民ニーズとの不整合（運行路線やダイヤが市民の移動ニーズに合っていない）
- ・市バスや西鉄バスとのダイヤ接続が悪く、乗り継ぎが不便
- ・長大路線、運行路線の安全性（離合が困難）
- ・生活利便施設（スーパーや病院等）への乗入が不十分
- ・将来的な財源を見越した運行の効率化（運行路線の重複）等

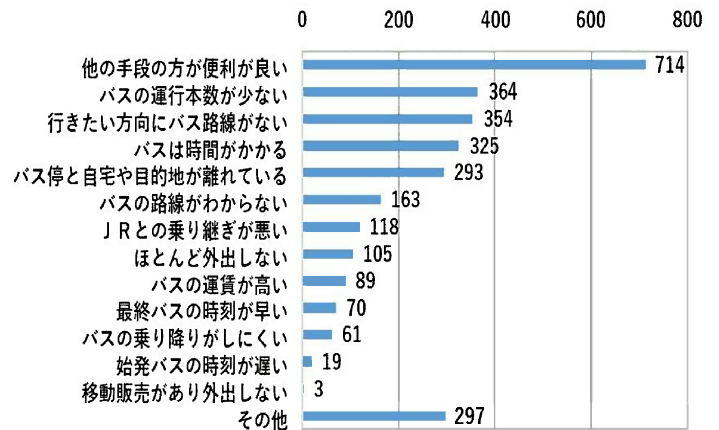


図 バスを利用しない理由

## 嘉麻市の公共交通網の維持・形成に向けた基本的な方針、将来像

これらの問題点・課題へ対応し、嘉麻市の公共交通網の維持・形成に向け、「一体性」「安全性」「利便性」「持続性」の4つの視点で基本的な方針を定めます。また、これらの基本的な方針に基づく取組みの推進により目指すべき公共交通の将来像を示します。これらの基本的な方針に基づき、持続可能で利用しやすく、安全性の高い総合的な公共交通網の構築を推進するため、計画の目標及び目標を達成するために実施する事業を実施します。

### 一体性

#### 文化・福祉・体育施設等の市全体での有効活用など、4市町合併の実効性を高めるための公共交通体系の構築

4市町合併による市全体の人口増加に伴い、市民が利用可能な各種行政サービス（図書館、スポーツ施設等）や福祉サービスの利便性向上と嘉麻市全域を視野に入れた広域的な街づくりに向け、嘉麻市の市域に対応した公共交通網を検討・整備します。

### 安全性

#### 分かりやすい情報提供、乗降しやすいバス車両、安全な運行の確保による、安心・安全な公共交通の確保

嘉麻市の公共交通においても、子どもからお年寄りまで、誰もが安心・安全に「乗りやすく」、「待ちやすく」、「分かりやすい」ものとするため、路線やバス停、車両、情報提供方法等の改善を図ります。

### 利便性

#### マイカーがなくても日常生活を送ることのできる公共交通サービスの確保

今後、嘉麻市においては、身近な移動手段として公共交通が果たす役割が重要となります。また、定住対策を進める上で、マイカーを持たない層や高校生等の交通弱者が、スムーズに買い物や病院、学校等の目的地に到達できるよう、公共交通サービスの確保に努めます。

### 持続性

#### 事業の継続的な改善による公共交通体系の維持・確保と、市の持続的発展への貢献

市民の重要な移動手段である公共交通の維持・確保に向けて、嘉麻市を取り巻く社会情勢や公共交通の事業環境を常に注視しながら、随時改善策を検討・実施するとともに、公共交通を今後のまちづくりや観光振興等といった市の活性化においても役立てていきます。

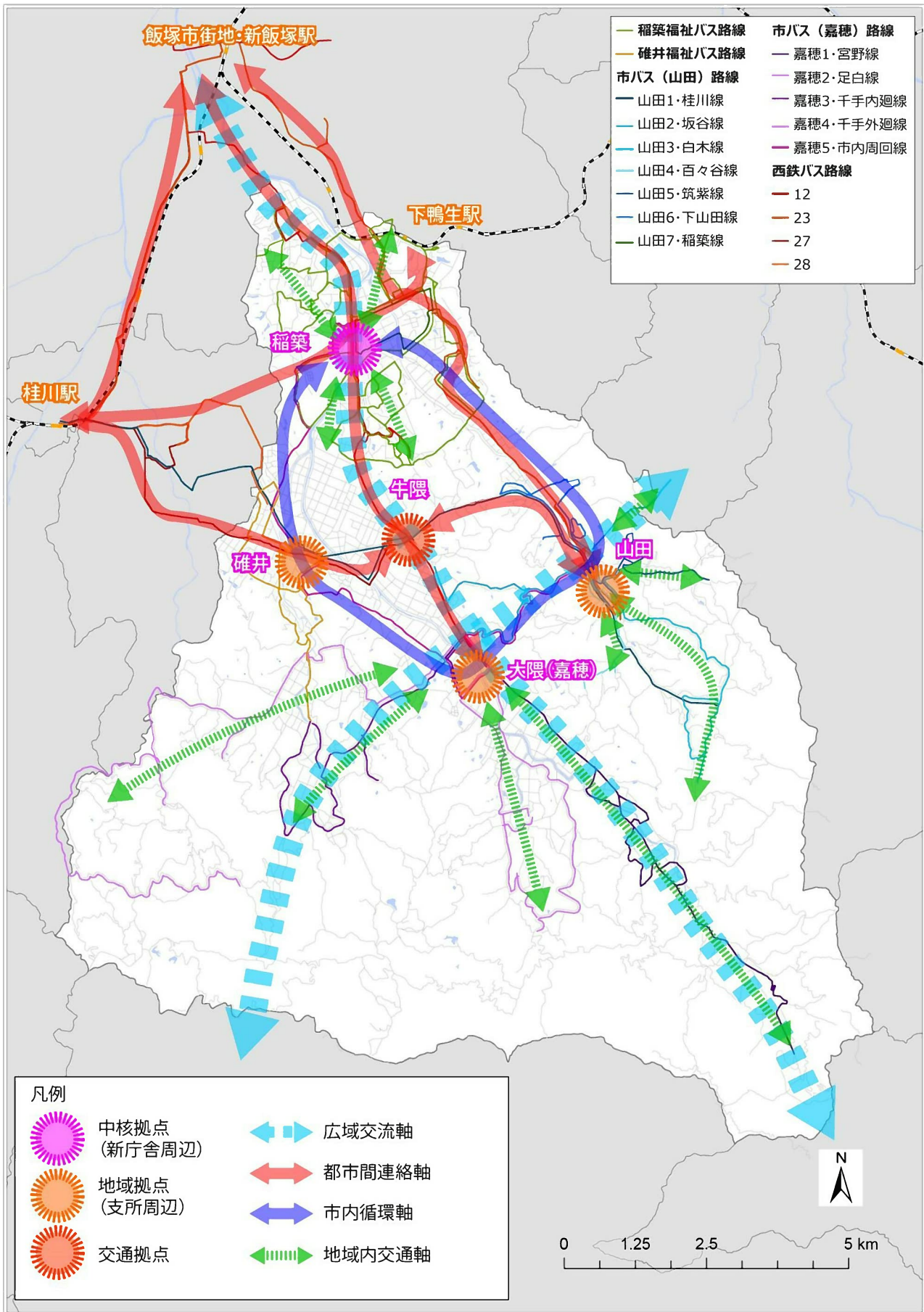


図 嘉麻市の公共交通網の将来像

## 計画目標および目標を達成するために実施する事業

### 目標 1 嘉麻市の活性化政策を推進する安心・安全な公共交通の構築

- ① 定住促進に貢献する公共交通（高校等通学補助金等）
- ② 地域の安心・安全に向けた公共交通利用への転換推進（運転免許返納対策等）
- ③ 庁舎整備と連携した公共交通網の再整備（市内循環線の構築等）
- ④ 市内外をつなぐ広域観光周遊路線の検討（市内外観光周遊路線の検討等）

### 目標 2 分かりやすく利用しやすい公共交通の実現

- ⑤ 誰もが分かりやすく利用しやすい公共交通体系の整備（市バスのカラーリング等）
- ⑥ 車両やバス停のユニバーサルデザインの推進（低床バス等の導入等）
- ⑦ 分かりやすい情報提供（公共交通マップの作成、配布等）

### 目標 3 利便性の高い交通環境の構築

- ⑧ 誰もが利用できる公共交通への改善（福祉バスの市バス統合等）
- ⑨ 市内外を結ぶ公共交通路線の確保（稲築桂川線の構築等）
- ⑩ 交通結節点の設置と乗継利便性の改善（総合バスステーション「乗継拠点」の整備等）

### 目標 4 持続性のある交通体系への転換

- ⑪ 既存路線の見直しによる運行効率化（デマンド型運行の検討等）
- ⑫ 運賃収入以外の収入の確保（車内広告等収入確保等）
- ⑬ 公共交通利用者の維持・拡大（公共交通利用促進策の検討等）

個別事業について、計画策定以降、平成 33 年度までのアクションプランとして、以下のとおり実施を計画します。

目標	実施事業	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
目標 1：嘉麻市の活性化政策を推進する安心・安全な公共交通の構築	嘉麻市と周辺市町村に設置される学校への通学手段確保	協議・調整・実施			継続実施(利用状況等により見直し)	
	広域通勤・通学需要に対する移動手段の検討	協議・調整・実施			継続実施(利用状況等により見直し)	
	通学者に対する負担軽減策の検討	試行実施			継続実施(利用状況等により見直し)	
	運転免許自主返納者に対する公共交通利用促進策の検討	協議・調整・実施			継続実施(利用状況等により見直し)	
	庁舎整備に伴う4つの地域の活性化・連携につながる交通網の整備	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	各支所を交通結節点とする地域内交通網の再編	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	嘉麻市内外の観光周遊を可能とする路線の検討	協議・調整・実施			継続実施(利用状況等により見直し)	
目標 2：分かりやすく利用しやすい公共交通の実現	利用者ニーズや目的的確に応じることのできる公共交通体系の整備	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	市バスのカラーリングの統一・分かりやすいバスの行き先表示等運行車両の改善	協議・調整・実施				
	車両更新時におけるみんなにやさしいバス等の導入の推進	協議・調整・実施				
	老朽化したバス停等の待合環境の整備	協議・調整・実施				
	官民の区分なく、わかりやすい情報の提供(公共交通マップの配布等)	運行計画に基づき作成・配布			継続実施	
目標 3：利便性の高い交通環境の構築	すべての市民が制限なく利用できる公共交通体系の整理(福祉バスの市バス統合等)	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	交通空白地に対する移動手段の確保	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	稲築から桂川方面への公共交通路線の設定	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	近隣市町との接続路線の維持・確保	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	牛隈地区にバスの乗継拠点を設置	計画・整備		供用開始・改善		
	生活利便施設(病院やスーパー等)への乗り入れの推進	協議・調整・実施				
	市バスと西鉄バスやJRとの乗継ぎを考慮した運行ダイヤの改善	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	乗継割引や高齢者割引の導入(ICカード装置の設置)の検討	協議・調整・実施				
目標 4：持続性のある交通体系への転換	幹線・枝線の役割分担と重複する路線の見直し	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	デマンド型運行等を含めた最適なサービスの提供を検討	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	公共交通に対する財政負担を考慮した運営方針の検討	協議・調整・実施			継続実施(利用状況により見直し)	
	安全・安定的な運行の支障となる路線の見直し(狭隘な道路等の回避等)	運行計画			運行開始(利用状況により見直し)	
	市バスラッピングや車内広告等による収入の確保	協議・調整・実施				
	地元商店等と公共交通の連携による商業の活性化及び市バス利用者の増進	協議・調整・実施				
	公共交通をみんなで維持する意識の醸成	協議・調整・実施				
	高齢者・運転免許自主返納者等に対する公共交通利用促進策の検討	協議・調整・実施			継続実施(利用状況により見直し)	



## PDCA サイクルによる計画の継続的な改善

目標を達成するためには、計画的に事業を進めることが重要です。そのために、継続的に取組みを実施していく（Do）と同時に、その取組み結果を詳細に把握・評価し（Check）、課題が見つければさらに見直しを検討・調整し（Action）、新たな取組みの計画を立案する（Plan）という「PDCA」のサイクルに基づいて、達成状況の評価を進めていきます。このサイクルの継続的实施により、取組み状況やその効果を施策実施の都度把握・検証し、その次のステップへと持続可能な公共交通網の形成に寄与させることが期待されます。

評価の実施にあたっては、嘉麻市地域公共交通会議において、年1回程度、事業の把握と評価を行い、その結果に基づき事業改善策を検討します。

## 数値目標

本計画の達成状況の評価するため、計画目標毎に評価指標および目標値を定めます。

なお、目標値は計画期間の最終年度である平成33年度を目標年度としますが、達成状況は毎年モニタリングを行うものとします。

表 計画の達成状況の評価指標および設定根拠

目標		現状	目標値 (H33)	備考
評価指標	指標の設定根拠			
目標1：嘉麻市の活性化政策を推進する安心・安全な公共交通の構築				
高校生の通学時の市バス・民間バス利用率	路線の再編により通学時のバス利用の定着・改善状況を計る	26.7% (H25)	30% (H33)	
目標2：分かりやすく利用しやすい公共交通の実現				
市バスの停留所表示の統一	施策の実施状況进行评估する	統一されていない	統一済	
目標3：利便性の高い交通環境の構築				
交通結節点の設置箇所数	施策の実施状況进行评估する	0箇所 (H27)	5箇所 (H33)	
公共交通人口カバー率	交通空白地域解消に向けた施策の効果を計る	74% (H22)	85% (H33)	バス路線 300m圏域
目標4：持続性のある交通体系への転換				
市バスの収支率	持続性の改善に向け、公共交通投資の効率化状況を計る	10.0% (H27)	20.0% (H33)	

表 その他、関連計画(平成28年度に作成した嘉麻市人口ビジョン・総合戦略)において掲げている目標値

評価指標	現状 (H26)	目標値 (H31)
観光入込客数	109万人	163万人
公共交通整備の取り組みに対する市民満足度	28.6%	50%
市バスの利用者数	116,199人	120,000人

**※詳細な内容は、嘉麻市ホームページ又は市役所各庁舎情報コーナーにてご覧ください。**



## 地域公共交通に関する市民説明会

編集・発行

嘉麻市 地域活性推進課

〒820-0592

福岡県嘉麻市上臼井 446 番地 1

<電話>0948-62-5677 <FAX>0948-62-5610

<URL><http://www.city.kama.lg.jp/>